

アーバンデザインセンター運営ワークショップ

南草津に



(仮称)

アーバンデザインセンターがやって来る

ヤア! ヤア! ヤア!

平成28 (2016) 年7月8日

草津未来研究所

全体の流れ

アーバンデザインセンターとは？

3

(仮称) UD CBK のコンセプト

15

草津市の課題と (仮称) UD CBK

21

(仮称) UD CBK の実施プログラム

27

(仮称) UD CBK の概要

39

UDC 発展のための3要素

45

このまちはどこ？



グアナファト

このまちはどこ？



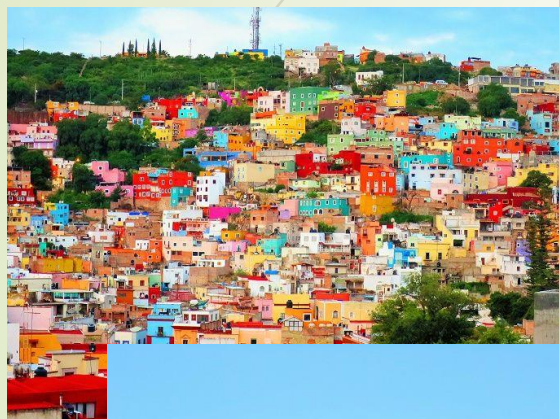
アムステルダム

このまちはどこ？



草津市

どの街並みが好き？



グアナファト



アムステルダム



草津市

どうして街並みの美しさに差が？

	グアナファト (メキシコ)	アムステルダム (オランダ)	草津市 (日本)
まちの特色	鉱山のまち 植民地	水害の都市 国際港湾都市	宿場町 交通の要衝
まちづくりの特徴	自然発生	精緻な都市計画	都市計画法や景観条 例などによる規制
ポイント	富の象徴として の価値を共有	階層を超えた協力や 話し合いを重視 (ポルターモデル)	私有地内自由

アーバンデザインとは？

- ▶ 市街地だけでなく、周りも
 - ▶ 都市空間（アーバンスペース）は、市街地だけでなく、その周辺の田園や緑地も、都市空間を支える重要な構成要素です。
- ▶ 今だけではなく、過去も未来も、そして人の活動も
 - ▶ その空間には歴史があり、地域の課題があり、人々の活動があり、そして、未来への可能性が広がっています。
- ▶ いろいろな未来を見据え、デザイン
 - ▶ アーバンデザインとは、地域の歴史や現状を知り、また人々が互いを知り合い、未来のまちのイメージについてみんなで話し合い、色々な未来があることを共有します。そうして、未来を創造するための新たな活動を多く産みだし、人々のニーズにあった都市空間をデザインすることです。

Urban Plan から Urban design へ

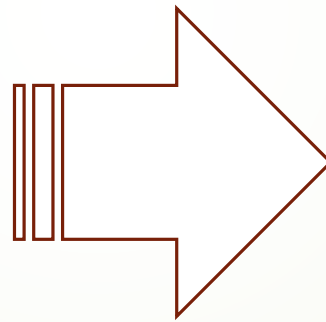
アーバン (urban)

英語で「都会的な」、「都市的な」という意味

プラン (Plan)

“計画”という意味を表わす最も一般的な語

図面、**平面図**、地図



デザイン (design)

語源は“計画を記号に表す”という意味のラテン語designare

デザインとは、ある問題を解決するために思考・概念の組み立てを行い、それを**様々な媒体に応じて表現**すること

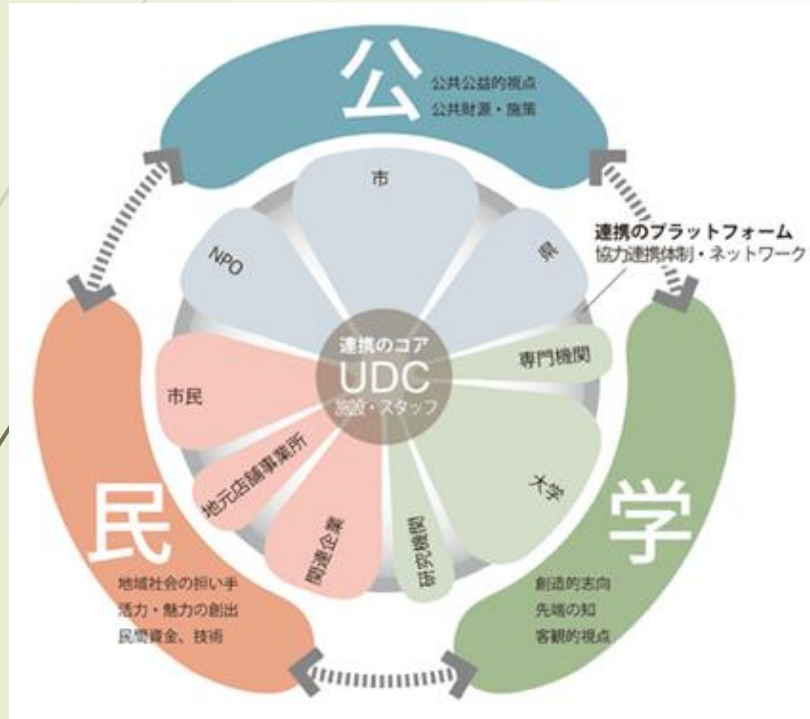
平面的で静止画的な都市計画から

立体的で時空間を越えた動画的な都市計画へ

アーバンデザインを生み出す条件

- その街に少しでも興味関心がある人であれば誰でもが気軽に自由に話し合える場所があること
- 地域の政策や課題について学習したい人、または自分の考えを伝えたい人が容易に出会い、学習する場所があること
- その街で生活を営んでいる住民が、街に愛着を持ち、共同体に属して生活していると実感できるさまざまな活動があること
- アーバンデザインを考えて、都市計画を行うことができる専門家がいること
- 専門家と市民を繋ぐ媒介の専門家と地域の専門家がいること

アーバンデザインセンター（UDC）とは？



- 複合化した地域の課題に対して、公・民・学のそれぞれの立場で活動する様々な個人や組織が、様々な場面で臨機応変につながり、協働して解決に取り組むコラボレーションを進めるためのプラットフォーム
- 「大学」や専門家は、新たな技術や理論を積極的にまちに応用すると共に、長期的・客観的視点から見たコラボレーションの方向づけをする上で、重要な役割を担う。
- 公・民・学のマス・コラボレーションを地域主体で実践し、まちを創造する拠点

全国のUDC一覧

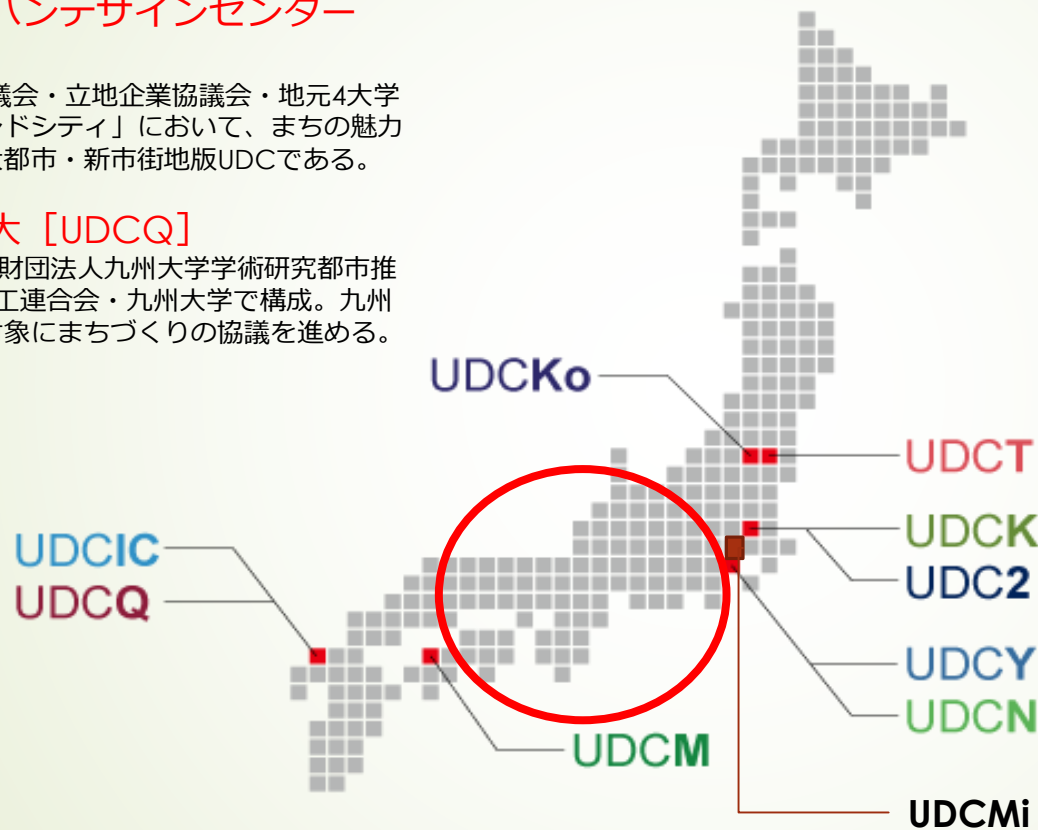
12

■ アイランドシティ・アーバンデザインセンター [UDCIC]

2012年10月設立。福岡市・地域団体協議会・立地企業協議会・地元4大学で構成。福岡市東区の人工島「アイランドシティ」において、まちの魅力向上やプロモーションに取り組む地方大都市・新市街地版UDCである。

■ アーバンデザイン会議九大 [UDCQ]

2007年3月設立。福岡市・糸島市・公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）・地元町会・元岡商工連合会・九州大学で構成。九州大学キャンパスが移転した糸島半島を対象にまちづくりの協議を進める。



■ 松山アーバンデザインセンター [UDCM]

2014年4月設立。松山市・地域団体・企業・地元4大学で構成。松山市のまちなかを対象に、「未来志向のまちづくり」と「歴史・伝統・文化の継承」を柱に、将来ビジョン検討や個別地区の空間デザイン等に取り組む。

■ 柏の葉アーバンデザインセンター [UDCK]

2006年11月設立。柏市・東京大学・千葉大学・地域団体・企業で構成。千葉県柏市北部 柏の葉エリアにおいて、知の資源や民間の活力を最大限に生かした次世代環境都市・国際学術研究都市の実現を目指し活動している。

■ 田村地域デザインセンター [UDCT]

2008年8月設立。田村市行政区長連合会・田村市・東京大学で構成。福島県田村市において、合併した旧町村単位で地方小都市のコンパクトなまちづくりに取り組む。

■ 郡山アーバンデザインセンター [UDCKo]

2008年11月設立。地元町会・地元企業に所属する個人・東京大学で構成。地方中核都市である福島県郡山市の郊外に拠点を置く民間主導型UDCである。

■ アーバンデザインセンター横浜 [UDCY]

2008年4月設立。横浜に拠点を置く専門家が連携するネットワーク型シンクタンク。これからの横浜のあり方を幅広い視野から考え、実践に向けて取り組む大都市版UDCである。

■ UDCN 並木ラボ

2014年3月設立。横浜市立大学COC事業の一環で、横浜市金沢シーサイドタウンに拠点を置き、郊外住宅地における超高齢化・空家増加・建物老朽化といった課題への対応に向け実践的に取り組む。

■ 柏アーバンデザインセンター [UDC2]

2015年4月設立。柏市・地元の団体や個人・東京大学で構成。千葉県柏市の柏駅周辺エリアにおいて、地域が抱える課題を解決しながら、持続可能なまちの魅力づくりと資産価値向上に取り組む。

■ アーバンデザインセンターうらわ [UDCMi]

2015年10月設立。さいたま市の団体や慶應義塾大学・東京電機大学で構成。埼玉県さいたま市の浦和美園駅周辺エリアにおいて、地域が抱える課題を解決しながら、環境未来都市づくりに取り組む。

アーバンデザインセンターの到達点

いろいろな未来のまちのイメージ（選択肢）の展示室

- ▶ 行政や開発業者等が政策や開発などの事業を検討する際、**ここに**くれば、公式、非公式を問わず、必要な情報がすべて入手できる、
- ▶ さらに詳しい情報が欲しい場合、**ここに**頼めば、その事柄に関心のある市民や専門家を集め、意見交換の場を作ることができる、
- ▶ **ここに**いれば、すぐに地域の人たちがどのような考えに基づいて、具体的な活動をしているかがわかる、
- ▶ **ここが**あれば、新たな政策や開発を行う場合、民意と最新の科学的知識を踏まえることができ、その結果として草津らしい街並みを形成することができる。

全体の流れ

アーバンデザインセンターとは？

3

(仮称) UDCBKのコンセプト

15

草津市の課題と(仮称)UDCBK

21

(仮称)UDCBKの実施プログラム

27

(仮称)UDCBKの概要

39

UDC発展のための3要素

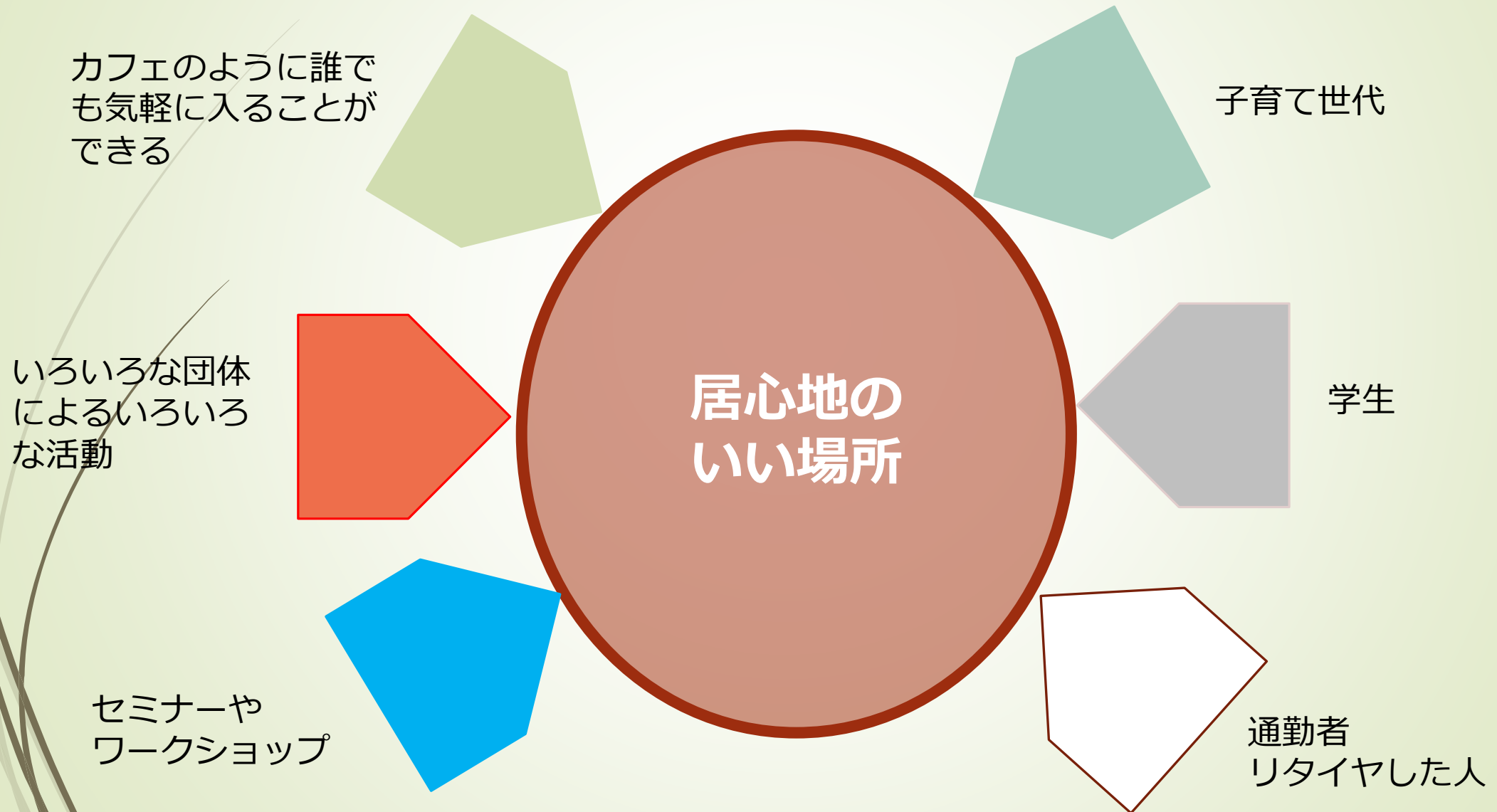
45

(仮称) UDCCBKのコンセプト

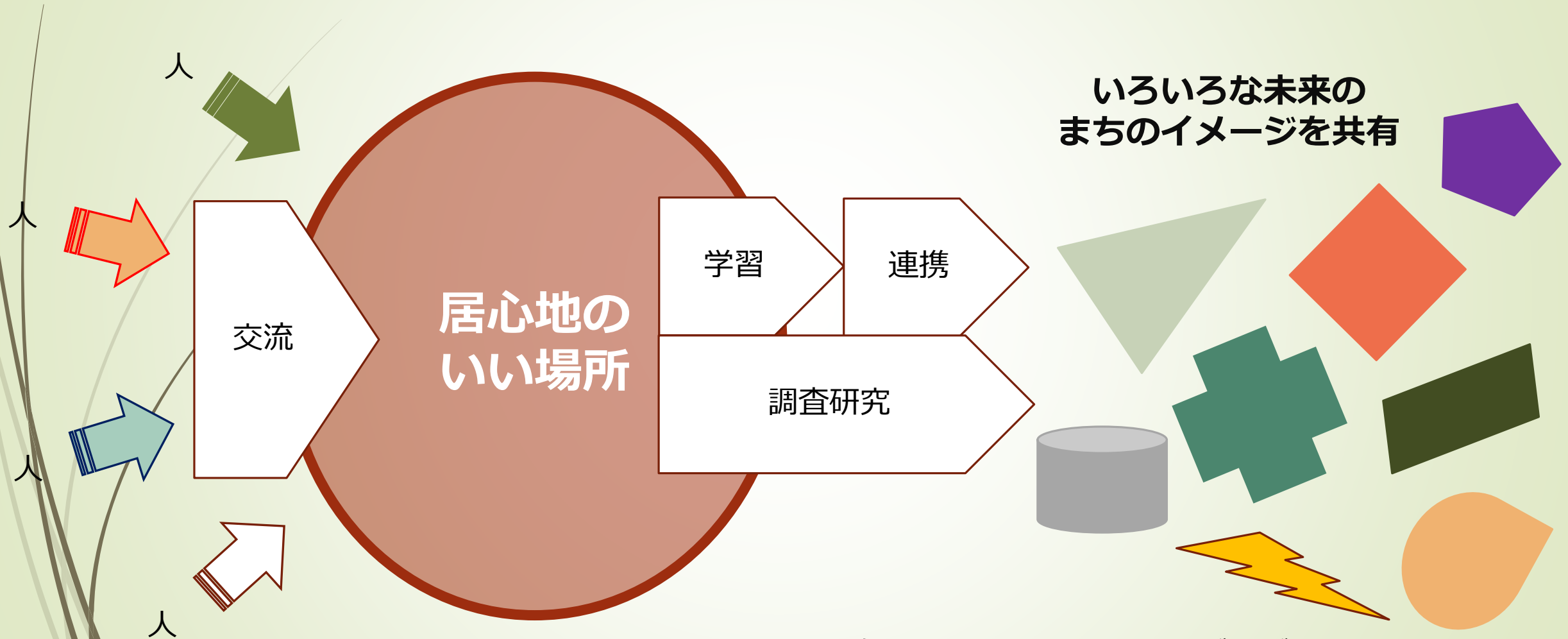
- 地域を知り、お互いを知り、みんなで話し合っ、未来のイメージから現在の課題を見つけ、その課題を解決する活動を産みだすことを支援する。



地域を知り、お互いを知る



未来のまちのイメージを共有する



互いのことを知っているので、その人がなぜこのような未来のまちのイメージをもつか理解

新たな活動を創出する

いろいろな未来の
まちのイメージを共有

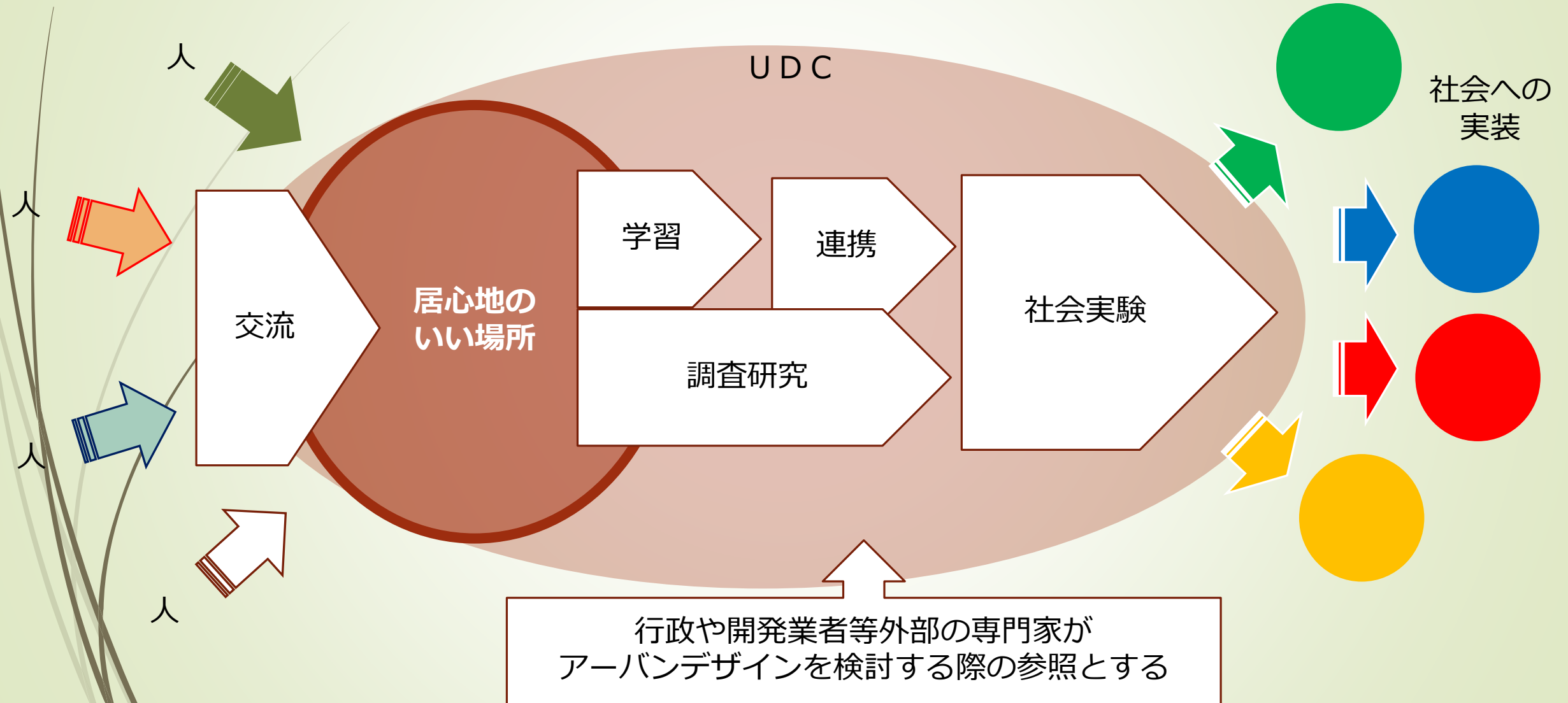


社会実験

新たな活動の萌芽



成長プロセスのイメージ



全体の流れ

アーバンデザインセンターとは？

3

(仮称) UD CBK のコンセプト

15

草津市の課題と (仮称) UD CBK

21

(仮称) UD CBK の実施プログラム

27

(仮称) UD CBK の概要

39

UDC 発展のための3要素

45

住みよさランキング 2016

近畿圏 4年連続第1位！

近畿地区	自治体名	西日本	全国
1	草津（滋賀県）	2	20
2	芦屋（兵庫県）	3	30
3	甲賀（滋賀県）	4	37
4	守山（滋賀県）	8	50

住みよさランキングの指標

住みよさランキングの算出に用いた指標

採用指標	説明	年次	出典
安心度	1 病院・一般診療所病床数(人口当たり)	2013年10月	厚生労働省「医療施設調査」
	2 介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数(65歳以上人口当たり)	2013年10月	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」
	3 出生数(15～49歳女性人口当たり)	2013年度	総務省「住民基本台帳人口要覧」
	4 保育所定員数-待機児童数(0～4歳人口当たり)	2013年10月、 2013年4月	厚生労働省「社会福祉施設等調査」、 同「保育所関連状況取りまとめ」
利便度	5 小売業年間販売額(人口当たり)	2012年	総務省「経済センサス-活動調査」
	6 大型小売店店舗面積(人口当たり)	2014年4月	東洋経済「全国大型小売店総覧」
快適度	7 汚水処理人口普及率	2014年3月	国土交通省・農林水産省・環境省「汚水処理人口普及状況」、各都道府県調べ
	8 都市公園面積(人口当たり)	2013年3月	国土交通省調べ
	9 転入・転出口比率	2011～2013年度	総務省「住民基本台帳人口要覧」
	10 新設住宅着工戸数(世帯当たり)	2011～2013年度	国土交通省「建築着工統計」
富裕度	11 財政力指数	2013年度	総務省「市町村別決算状況調」
	12 地方税収入額(人口当たり)	2013年度	総務省「市町村別決算状況調」
	13 課税対象所得(納税義務者1人当たり)	2013年度	総務省「市町村税課税状況等の調」
住宅水準充実度	14 住宅延べ床面積(世帯当たり)	2013年10月	総務省「住宅・土地統計調査」
	15 持ち家世帯比率	2013年10月	総務省「国勢調査」

※指標の色付き箇所

前年度から変更になったもの。

※ランキングの算出方法

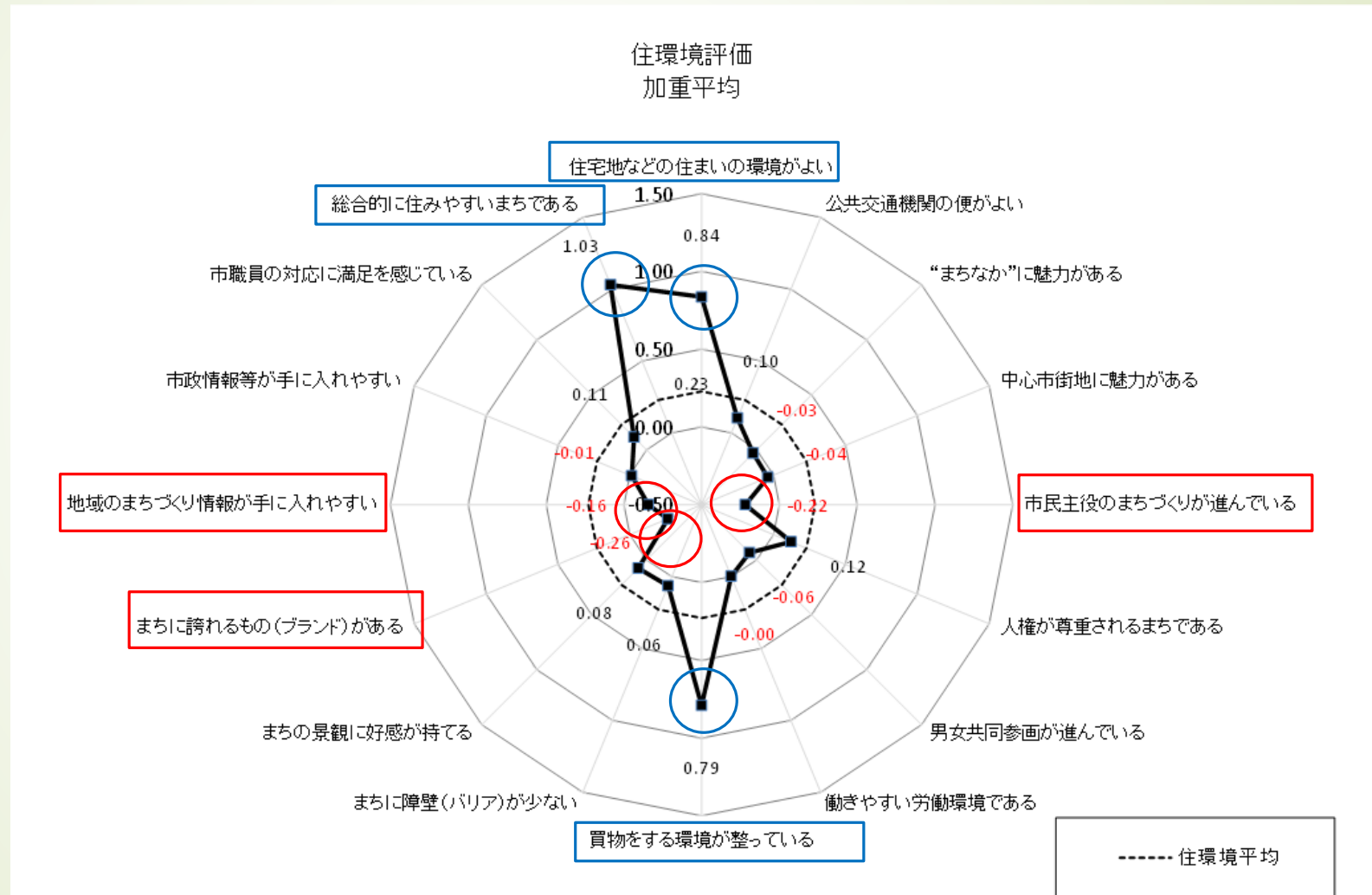
上記15指標について、それぞれ平均値を50とする偏差値を求め、その単純平均を総合評価として順位付けしている。

同様に「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」部門ごと評価も、各指標の偏差値を単純平均している。

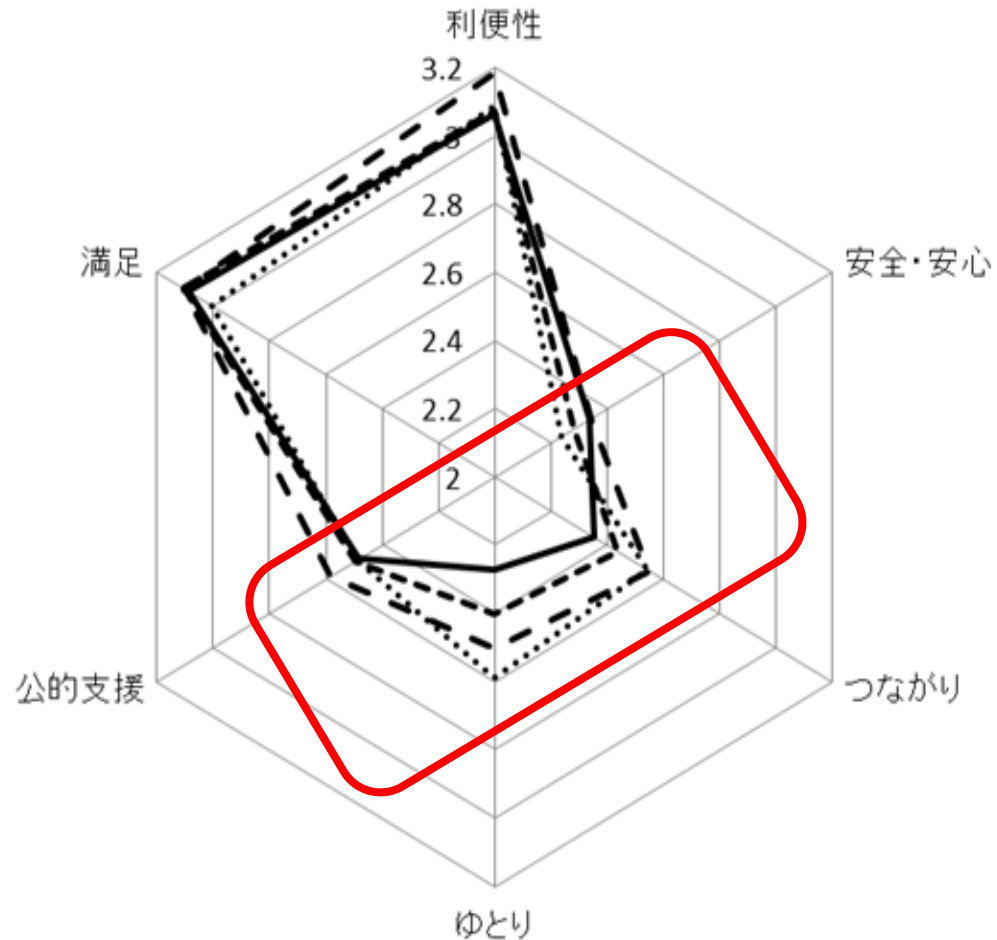
(各指標の偏差値) = $10 \times ((\text{個別指標の値}) - (\text{各指標の平均値})) \div (\text{各指標の標準偏差}) + 50$



草津市の住環境評価（加重平均）



(参考) 各要因(領域)別 「住みやすさ」に対する意識



要因(領域)	要素(項目)	現状に対する評価が高いもの(平均値以上)
利便性	公共交通(バス・電車)の利便性が良い	○
	日常の買い物の利便性が良い	○
安全・安心	犯罪が少ない	
	災害が少ない	
つながり	集える場所がある	
	近所を含むコミュニケーションがある	○
ゆとり	伝統・文化	
	イベント等への参加	
公的施設	医療施設が充実	○
	高齢者施設が充実	
	子育て関係施設や教育が充実	

出所: 草津未来研究所作成

- 新市街地
- 旧市街地
- - 新旧混在
- 郊外

* 「満足」はアンケートによる全体的な草津市の住みよさの満足度

(仮称) UDCBKの効果

- ▶ 連携・交流の場の提供
 - ▶ 就業・通学者、単身赴任者、下宿生等と居住者との交流の機会創出
 - ▶ 子育て世代および女性の活躍の場の提供
- ▶ 市民主役の萌芽的活動の支援
 - ▶ 市民主役の萌芽的活動を支援（社会実験）し、既存支援活動体に切れ目なく接続
- ▶ まちづくりに関する情報発信
 - ▶ 地域のまちづくりに関連する情報の発信
- ▶ 女性の参画
 - ▶ 政策決定プロセスへの女性の意見、及び参画

UDCが有効に機能するための条件ですが、同時に、これらは草津市の課題でもあります。草津市の課題解決にUDCの活動は重要な貢献を行いますが、UDCを進めていくことが草津市の課題解決にも繋がると考えます。

全体の流れ

アーバンデザインセンターとは？

3

(仮称) UD CBK のコンセプト

15

草津市の課題と (仮称) UD CBK

21

(仮称) UD CBK の実施プログラム

27

(仮称) UD CBK の概要

39

UD C 発展のための3要素

45

実施プログラムの基本的な考え方

- ▶ 市民がやりたいこと、疑問に感じていることを取り上げる。
 - ▶ ただし、アーバンデザインの目的に合致していること
- ▶ 要望ではなく、市民の交流・学習・連携を支援する。
 - ▶ 市民のニーズに応えるため、余裕をもった編成とする。
- ▶ UDCは、会場及び機器類の提供、専門家等の紹介や招集、告知・参加者募集などのロジスティクスを支援する。
 - ▶ 市民主役であるが、主催はUDCである。

(仮称) UDCBKの機能 (案)

28

機 能	内 容
学習・交流	学習・交流・活動の場の創出 公民学連携のきっかけづくり
調査研究	アーバンデザイン等草津、特に南草津の未来のまち づくりに関する調査研究
社会実験	未来のイメージを具現化する社会実験の実施
情報発信	F M局やS N S等を活用した情報発信

学習・交流（案）

	機能	内容	回数
アーバンデザイン スクール	学習	（仮称）UDCBKの運営を担う人材の育成を目的に、UDC運営に必要な知識等の取得	4回
未来創造セミナー	交流	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	4～6
	連携	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、社会実験等に接続	4～6
その他イベント	交流・ 学習	環境月間や児童虐待月間等オープンスペースの展示に合わせたセミナーや防災おにぎりデー等	4～6

合計 20回予定

アーバンデザインスクール（学習）

■ アーバンデザインスクール

■ 目的

- （仮称）UDCBKの運営を担う人材の育成を目的に、UDC運営に必要な知識等を取得する。
- 媒介の専門家、地域の専門家の育成

■ 対象者

- （仮称）UDCBKの運営に意欲と関心を持つ方

■ 人数

- 15人程度

■ 回数

- 半期4～5回を1クールとし、年2回（2クール）実施する（今年度は1回）

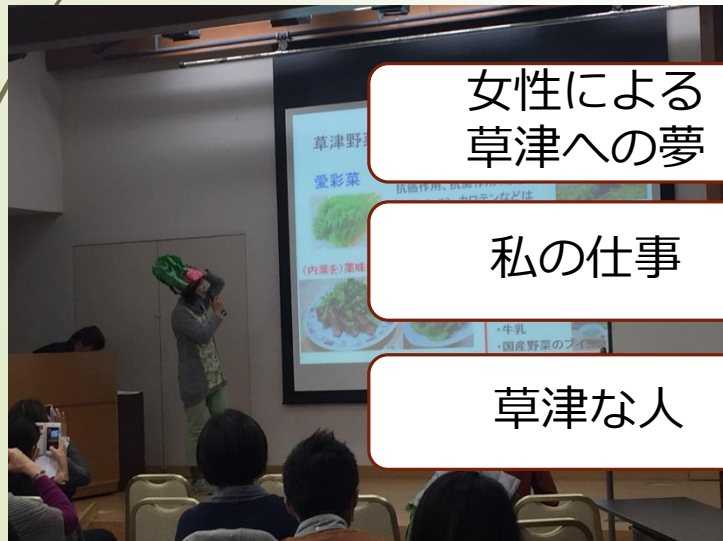
■ テーマ

- 「コミュニケーション」「ファシリテーション」「プレゼンテーション」「コーディネーション」
- 「アーバンデザイン」「食と農」「健康」「子育て」「産業振興」

未来創造セミナー（交流）

▶ 未来創造セミナー（交流中心）

- ▶ 目的 草津には、昔からずっと住んでいる人、就職や結婚、出産や進学、海外からの人、またはリタイヤ等を機に他から草津に移ってきた人、通勤・通学や社会活動などで草津に通う人などいろいろな人が集っています。そのような人たちが自らの人生（ライフ・ストーリー）を語り、そして草津の現在、未来への思いを知り合い、参加者がお互いを理解しあう交流の場を提供します。
- ▶ 対象者 草津に関心のある人々
- ▶ 人数 100人程度（テーマにより可変）
- ▶ 回数 月1回（10月から6回）



女性による 草津への夢

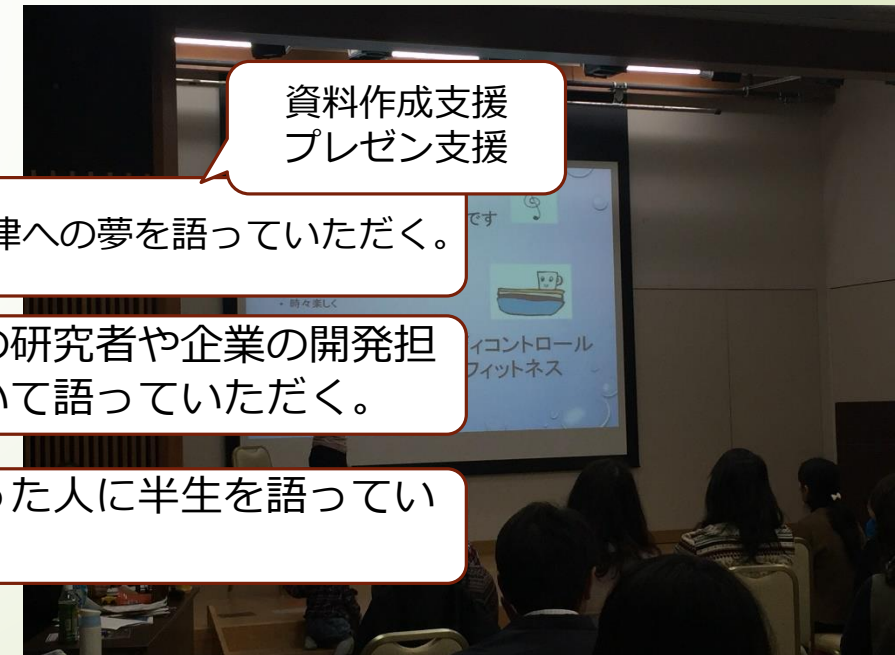
草津市在住・在勤の女性に草津への夢を語っていただく。

私の仕事

草津市在勤の人々（大学の研究者や企業の開発担当等）に自分の仕事について語っていただく。

草津な人

草津で生まれ、草津で育った人に半生を語っていただく。



資料作成支援 プレゼン支援

未来創造セミナー（連携）

- ▶ 未来創造セミナー（連携中心）
 - ▶ 目的 それぞれが語った未来のイメージを実現するために公民学が知恵を出し合い、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、企画を立案、実現に向けて社会実験の実施や既存の団体等に切れ目なく接続します。
 - ▶ 対象者 草津に関心のある人々
 - ▶ 人数 30人程度
 - ▶ 回数
 - ▶ 2ヶ月に1回程度（6回）

調査研究（案）

- UDC構成団体による自由な調査研究
- UDCをリサーチ拠点として活用
- 検討結果等について市民と意見交換

- ▶ オープンデータ利活用手法の調査研究
 - ▶ 市所有情報のオープンデータ化に呼応し、オープンデータをまちづくりに活かすための手法を検討
 - ▶ アイデアソン、ハッカソンの実施
 - ▶ スマートデバイスを利用した地域情報の収集手法の検討
- ▶ 都市デザインスタジオ
 - ▶ 学生の自由な発想のもと、未来の草津の都市デザインについて調査研究
- ▶ その他包括協定提携大学による調査研究

社会実験推進事業

- ▶ 包括協定締結大学を対象とした「アーバンデザイン」「食と農」「健康」「子育て」「産業振興」をテーマにした社会実験の委託事業
 - ▶ 5事業の実施予定（一件あたり40～50万円を想定）
 - ▶ 1大学1事業を原則とする
 - ▶ テーマについては市からリストを提示し、協議の上、決定する。
 - ▶ 平成28年度は10月からの6か月とする。

- ▶ 委託条件
 - ▶ UDCを活用した社会実験とすること
 - ▶ 市民、または市民グループと協働すること
 - ▶ 中間報告、最終報告の2回、市民を対象とした報告会を開催すること

その他イベント

- ▶ 草津市立南図書館が隣接する立地を活かしたプログラム開発
 - ▶ ビブリオバトル
 - ▶ マイクロライブラリー
 - ▶ 読み聞かせ

- ▶ 他部署が行う様々な政策月間に合わせたイベント
 - ▶ 児童虐待月間（男女共同参画室）のパネル展示に連動したイベントの実施
 - ▶ 毎月17日の防災おにぎりデー（危機管理課）に合わせたイベントの実施

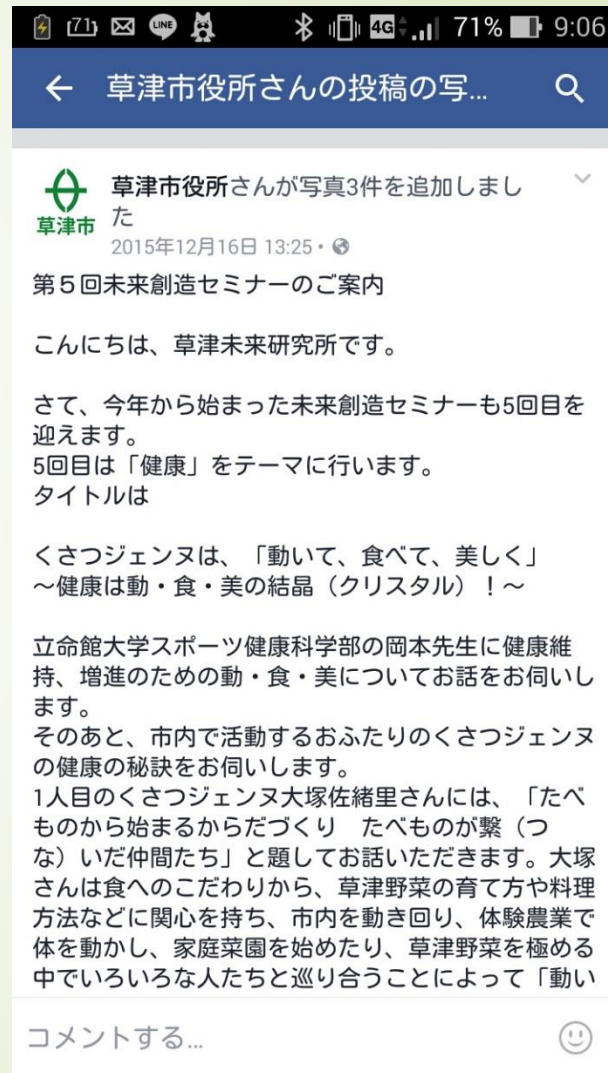
- ▶ 構成団体、および協力団体との共催等
 - ▶ 防災
 - ▶ 子育て
 - ▶ 多文化共生

構成団体等の独自プログラム（案）

- ▶ 大学の独自プログラム
 - ▶ UDCの理念に合致した市民を対象とした大学主催イベント
 - ▶ UDCの理念に合致した学生団体によるイベント
- ▶ 企業の独自プログラム
 - ▶ UDCの理念に合致した食や健康等に関する新商品・サービス等のモニター調査
 - ▶ UDCの理念に合致した市民を対象とした各種イベント
- ▶ 市民団体等構成団体のプログラム
 - ▶ 子育て
 - ▶ 多文化共生

情報発信（案）

- ▶ Facebook、Twitter等ソーシャルメディアの活用
- ▶ えふえむ草津との連携検討



全体の流れ

アーバンデザインセンターとは？

3

(仮称) UD CBK のコンセプト

15

草津市の課題と (仮称) UD CBK

21

(仮称) UD CBK の実施プログラム

27

(仮称) UD CBK の概要

39

UD C 発展のための3要素

45

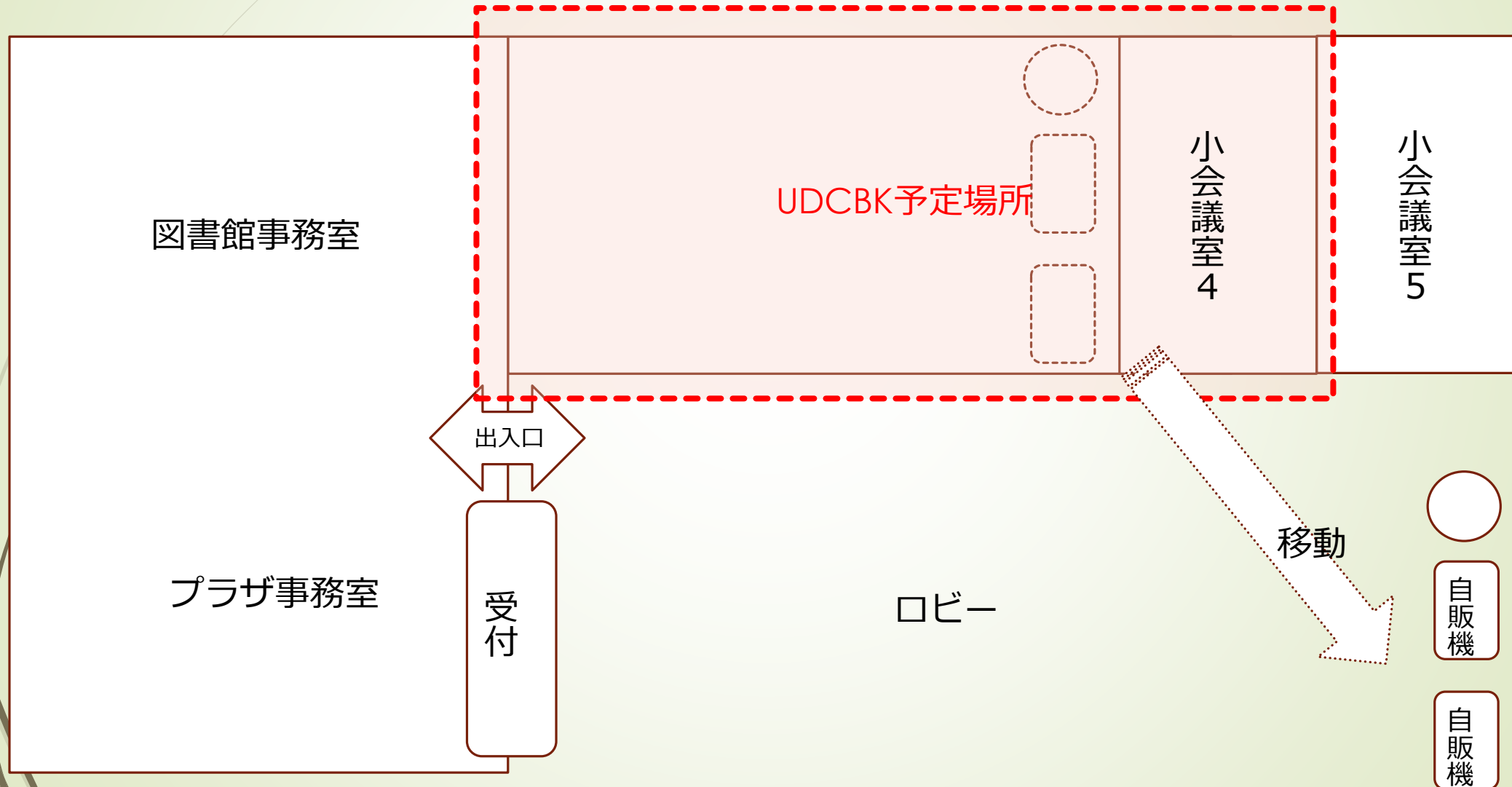
(仮称) UDCCBKの開室場所・時間について (案)

- ▶ 開室場所
 - ▶ 南草津駅前フェリエ5階の市民交流プラザ内

- ▶ 開室予定日時
 - ▶ 平成28年10月15日(土) 午前10時

- ▶ 開室曜日・時間
 - ▶ 火曜から土曜 (日・月・祝(祝日が月曜の場合は火曜日休室))
 - ▶ 午前10時から午後6時45分

(仮称) UDCBKの設置予定場所



間仕切りについて

利用可能曜日や時間帯が市民交流プラザ、南図書館とは異なること、南図書館と隣接していること、から
容易に人が侵入できないようにする
可能な限り遮音性を確保する
施錠可能とする
等を満たすため、ハイパーテーション（2100mm）にて間仕切る。



レイアウト (案)

オープンスペース



クローズドスペース
(小会議室 4)



相談室機能

倉庫機能



調査研究機能

執務室機能

(仮称) UDCCBKの利用について (案)

- ▶ (仮称) UDCCBK及び構成団体が実施する調査研究、社会実験等の打ち合わせ利用
- ▶ 構成団体・協力団体の南草津駅前出張所または活動拠点として様々なサービスの提供に利用
- ▶ 構成団体・協力団体のイベント等（15人程度）での利用
 - ▶ 15名以上の場合は隣接の市民交流プラザ会議室を利用
- ▶ 環境月間や児童虐待防止月間などの啓発のための各種展示
- ▶ 未利用時はオープンスペースとして誰でも利用可能

全体の流れ

アーバンデザインセンターとは？

3

(仮称)UDCBKのコンセプト

15

(仮称)UDCBKの実施プログラム

21

草津市の課題と(仮称)UDCBK

27

(仮称)UDCBKの概要

39

UDC発展のための3要素

45

UDC発展のための三要素

45

居場所・交流

学習・成長

調査研究・活動

居心地の
いい場所
(サードプレイス)

+

魅力ある
プログラム

+

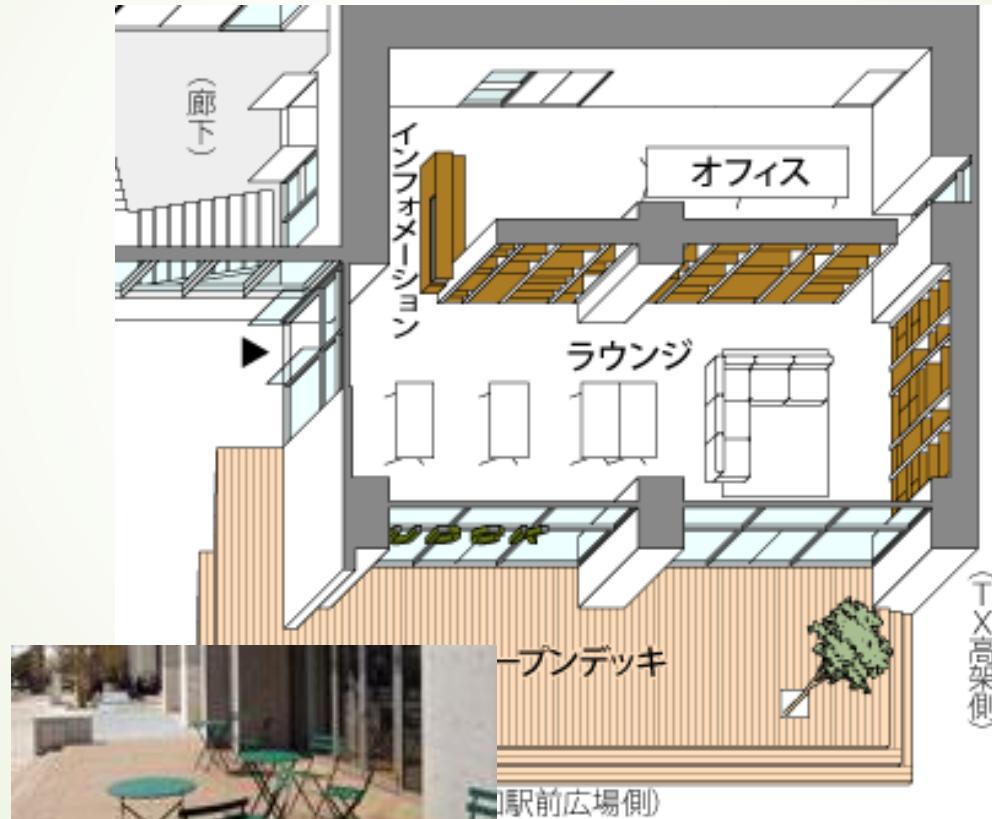
イメージを
具現化する
社会実験

- ・人通りの多い目立つ場所
- ・カフェのような入りやすく、話しやすい雰囲気
- ・ワークショップなどを気軽に行える機器類の整備
- ・家庭でも職場でもない第三の場所

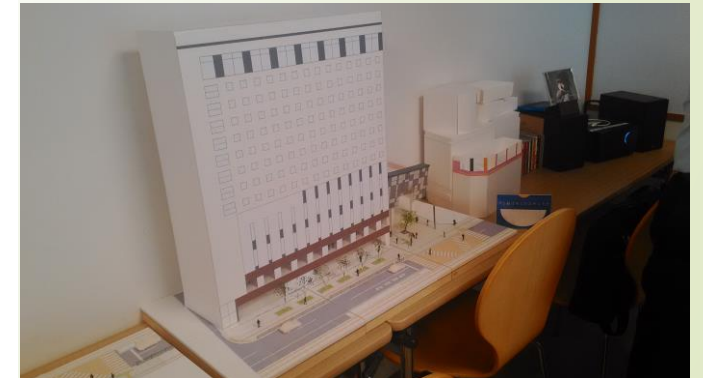
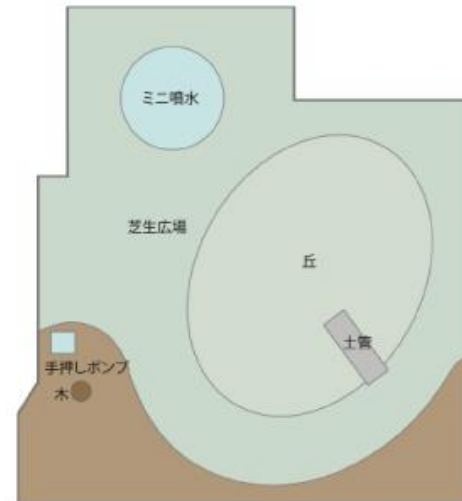
- ・市民が本当に語りたい事柄や知りたいことがわかるプログラム
- ・市民の活動を様々な形で支援するプログラム
- ・専門家と市民を媒介する地域の専門家の育成

- ・公共的課題を多様な組織や個人が参画して解決への取り組み
- ・地元企業・立地企業等専門的知識を持つ組織の参画
- ・近くに総合大学があり、積極的に参画

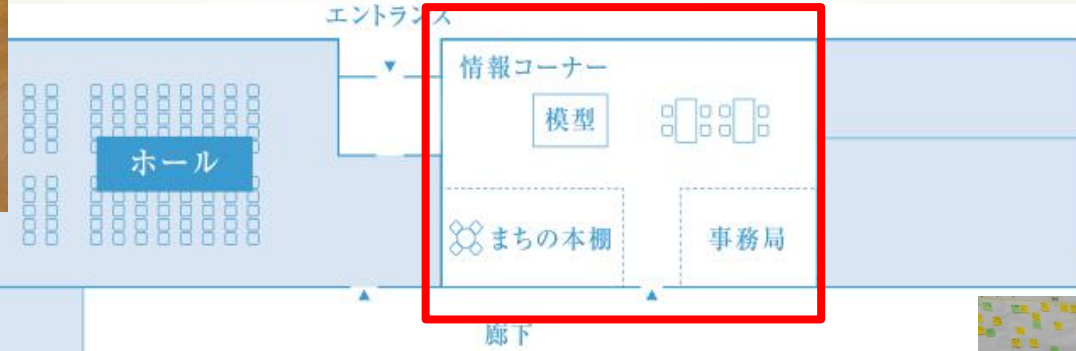
拠点事例 (UDCK) 内観



拠点事例 (UDCM) 内観



拠点事例（UDCIC）内観



既存拠点施設の特長

外観 (周辺環境)

- 駅前や商店街の近く、ニュータウンのランドマークビル内などその地域では人通りの多い道路に面したビルの1階にある。
- 公園や広場などの近くにある。
- 建物は全面ガラス張り、外から内部が見えるようになっている。
- UDCのロゴが目立つところにあり、遠くからでもわかる (K,CI)

内観 (設備等)

- 多目的ホールとして設計されている。
- 机や椅子は自由に移動できるようになっている。
- ホワイトボードやプロジェクターなどが常備されている。
- 自らポトタッチ（飲食物を持ち寄って交流）を主催するなど飲食の持ち込みが自由である。
- マイクロライブラリー（まちの小さな図書館）が併設されている。(K,CI)
- まちの情報ステーション的な機能も兼ねている
- ソファ等くつろぎのスペースがある (K)
- 広場が目の前にあるため、多目的トイレ設置 (M)

その他

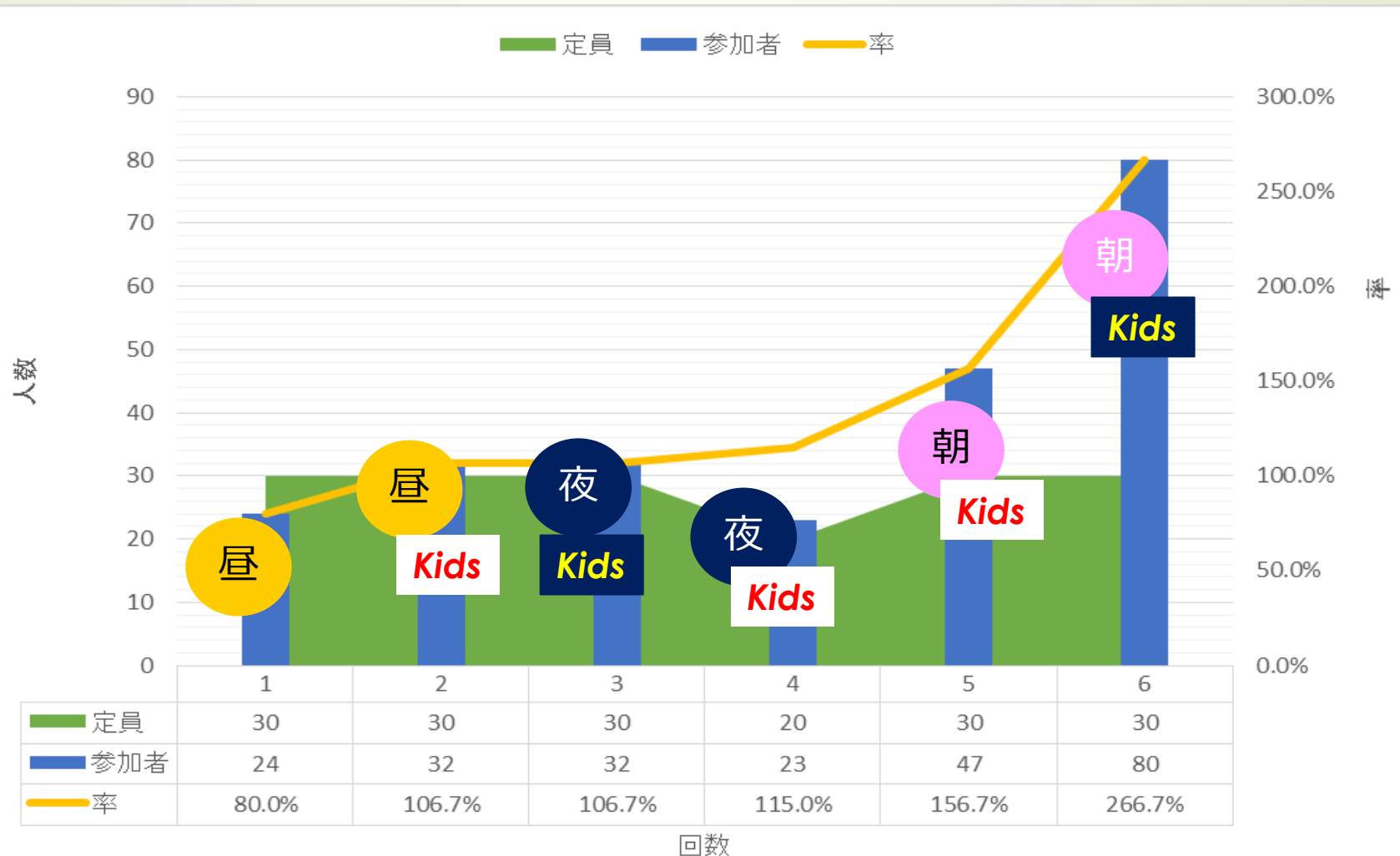
- UDC Kは三代目の建屋、UDC Mは移転が予定されているなど状況に合わせて柔軟に対応している。

未来創造セミナー開催の目的

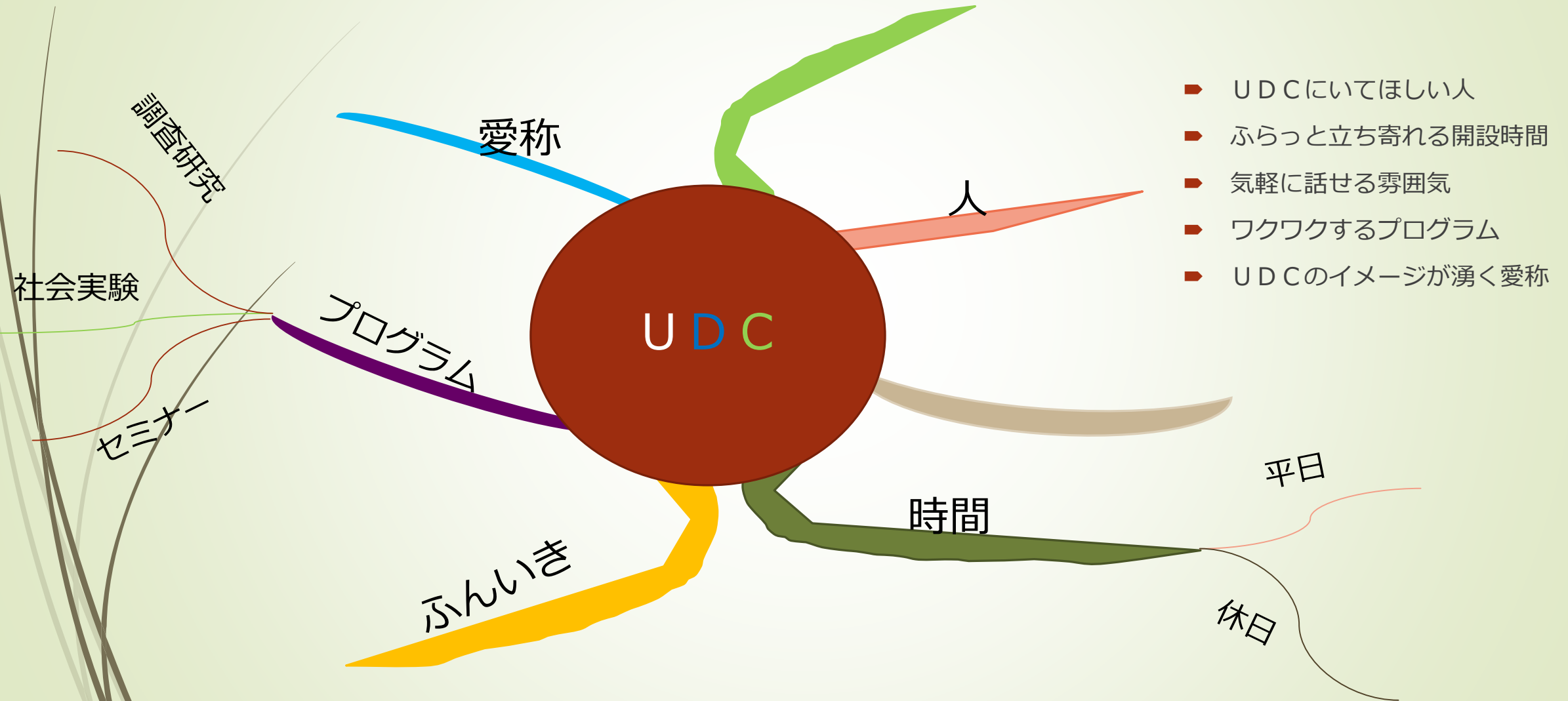
- ▶ 気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造される「場」
 - ▶ 地域をベースに市民と行政、企業、大学等が連携してまちづくりを進めていくための「場所」
- を検討するため、南草津駅前の市民交流プラザにて「未来創造セミナー」を開催する。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
テーマ	理想とする女性の働き方	子育てしやすいまち	アーバンデザイン (散歩道)	文化	動・食・美	大学地域連携
庁内連携部署	男女共同参画室	子ども・子育て推進室	都市計画課	未来研究所	未来研究所	未来研究所
専門家	二宮周平 (立命館大学) 京樂真帆子 (滋賀県立大学)	小沢道紀 (立命館大学)	武田史朗 (立命館大学)	木下達文 (京都橘大学)	岡本直輝 (立命館大学)	肥塚浩 (立命館大学)
開催日時	平成27年 7月30日 14:00～16:30	平成27年 8月25日 14:00～16:30	平成27年 11月5日 18:00～20:00	平成27年 12月3日 18:15～20:15	平成28年 1月26日 10:00～12:00	平成28年 3月26日 10:00～12:00
子ども	×	○	○	○	○	○
場所	市民交流プラザ（南草津駅前）					

未来創造セミナー参加実績

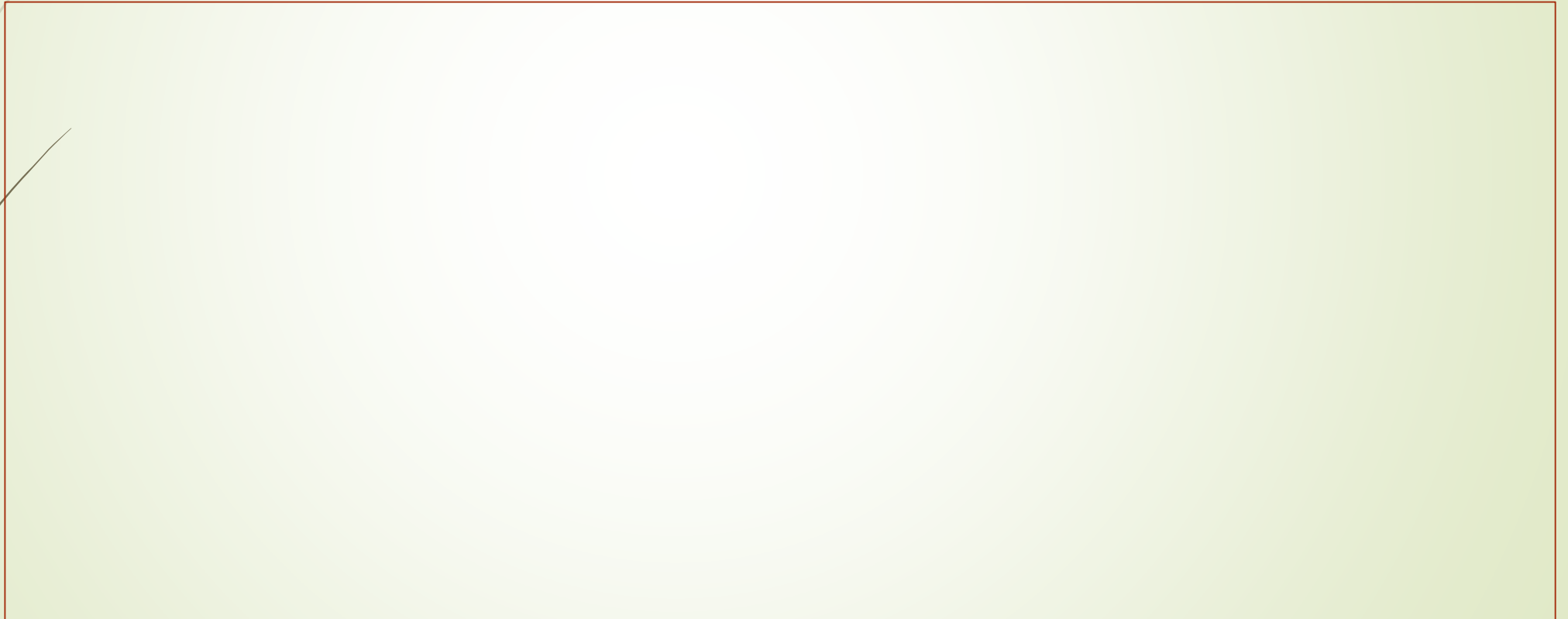


マップで問題を整理しよう！



UDCのこと、なんでも

今日のUDCBKの説明を聞いて感じたことなど自由に書いてください。
書いたら、切り離して机の上に置いておいてください。



任意で結構です。 年齢_____ 性別 _____

第5回草津市大学地域連携強化プラン懇話会のお知らせ

- ▶ 日 時 平成28年7月15日（金曜）午後5時から1時間半程度
- ▶ 会 場 市民交流プラザ 中会議室 （フェリエ南草津5階）
- ▶ テーマ (仮称)アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業について
- ▶ 傍聴人の定員 30名まで（先着順）

傍聴希望の方は 氏名、電話番号をお知らせください。

氏名

電話番号
